

# 特別支援やICT活用

市館大

教職員が  
夏季研修

17講座で知識深める

大館市教職員夏季研修会が先月31日、同市の秋田職業能力開発短期大学校で開かれ

た。市内の教職員約250人が参加。特別支援教育、キャリア教育、ICT（情報通信

技術）活用、SDGs（持続可能な開発目標）教育などさまざまな分野について知識を深めた。

市教委の主催。新たな知識の習得、専門性の向上を図り、授業や教育活動に生かしてもらおうと、夏休みに合わせて毎年開催。全17講座を用意し、4コマに分けた。参加を希望した教職員は、このうち2講座以上を選択して受講した。

前年度、市内の全小中学校に計90台が導入された電子黒板「ミライタッチ」の講座は、基本編と応用編で計3回実施。約70人が受講した。

基本編では、製造会社の社員が基本操作や機能を紹介。「モニター」の65センチの範囲だけでなく、外の領域まで使える「矢印は一部分を指定して動かす、指のアイコンは全体を動かす」などと教えた。

アップデートで追加された機能も示した。「適当」に書いた線や図形もきれいにしてくれる「コンパス」もあり、子どもたちに視覚的に教えられる」と実演しながら伝えると、参加者は大きくうなずき、驚いた様子だった。



ICT活用など17講座が用意された研修会（秋田職業短大）